

もっと現場を知る！職員短期派遣研修 報告書

市町村課行政グループ 竹下正宏

○ 派遣先 大田市立中央公民館

○ 研修の日時及び内容

□ 7月17日（火）8：30～9：00
挨拶と今後の活動について打ち合わせ

□ 7月29日（日）8：00～15：00
自然たんけん隊『海ぼうずと海たんけん』

大田市静間町の魚津で、小学生親子を対象に、自然とふれあう活動が開催されました。30度を超える真夏日の中、小学生の親子とスタッフ、ボランティアあわせて約90名が参加しました。

「海の達人」渡辺さんの指導のもと、子どもたちは、貝やカニを採ったり、魚を追いかけて、たっぷり大自然を満喫しました。



たくさんの小学生親子が集まりました

また、石で作ったかまどに薪で火をおこして、子どもたちが採った貝のみそ汁や、焼きそばを作り、みんなで食べました。調理は地元食育ボランティアの皆さんにご協力いただきました。

例年、川遊びを行っていましたが、今回は初めて海遊びに挑戦。安全管理には特に注意し、子どもたちはライフジャケットを身に着け、スタッフと保護者の方で気を付けて見守りました。

大田一中から7名の生徒がボランティアで参加し、準備や小学生の遊び指導、焼きそば作りの手伝いをしました。小学生とのふれあいや働くことの大変さを知る貴重な体験ができたと思います。



ボランティアスタッフの中学生たち



調理のお手伝いをしました。

□ 8月7日（火） 8：30～16：30
中・高生のための地域体験活動『乳幼児ふれあい体験』

中学1年生から高校3年生の生徒14人（うち男子生徒2人）が参加して、乳幼児と保護者と交流しました。

まずは、大田市の保育士さんから人形を使って乳幼児の抱き方やおむつ交換の方法を教わった後、「ひよこランド」の乳幼児と保護者12組と手遊びをしたり、庭で水遊びを楽しみました。

参加した生徒には、「将来、保育士になりたいくて参加しました」という子も。

始めは恐る恐るだった生徒たちは、次第に表情が柔らかくなり、子どもたちとの触れ合いを楽しんでいました。

（参加した生徒の感想）

「楽しかったけど大変なこともあり、（両親は）私が小さい時もこんな苦労したのかなと思うと、育ててくれたことにとても感謝します。」



人形を使っておむつ替えの練習



プール遊びをしました。

□ 8月10日（金）8：30～16：00
中・高生のための地域体験活動『新生活を始めるための料理教室』



献立を考えながら、栄養について学びました。

中学2年生から高校2年生の9人が参加して、料理教室がありました。

始めに大田市の栄養士さんから、朝昼晩の献立づくりを通して、バランスのとれた食事づくりについて学びました。

その後、調理室で食育ボランティアの方に教わりながら、チャーハンやサラダなど4品を作りました。



協力してチャーハンを作ります

料理は初めてという生徒もいましたが、協力して料理を仕上げました。作ることの楽しさを感じることができたと思います。



作った料理は全員でおいしくいただきました。

□ 8月21日（火） 8：30～16：00
中・高生のための地域体験活動『面接に役立つ「話し方講座」』

中学生5人とケーブルテレビのCMを見て参加された地域の方6人が参加し、元NHKキャスター山崎瑞穂さんから「目指せ！話し上手・聞き上手 こっそり教えるアナウンサーのとおき術」を学びました。

「話し上手はきき上手」など、日常生活で使えるテクニックを教わりました。その後、「聞き上手」になるため、参加者同士のインタビューと他己紹介に挑戦しました。

普段、地域の大人と中学生が話をする機会はなかなか無いということで、最初は大人も生徒もお互いに緊張した面持ちでしたが、次第に打ち解け、最後には会話も弾んでいました。

参加した中学生は「人と話すことに対して少し自信ができました。」と感想を話していました。

□ 9月1日（土） 18：00～20：30
自然たんけん隊『「海ホテル」観察に出かけよう』

静間町の和江漁港で、たくさんの小学生親子が参加し、アジゴ釣りとおき術の観察をしました。

アジゴ釣りは、「海の達人」渡辺さんの指導のもと、サビキ仕掛けで挑戦。たくさんの収穫がありました。（中には、アオリイカやアナゴを釣り上げるツワモノお父さんも）

釣ったアジゴはその場でスタッフと食育ボランティアさんがから揚げにし、みんなで美味しくいただきました。

三瓶自然館の中村先生の仕掛けで海ホテルの観察に挑戦しました。

海ホテルとは長さ3ミリほどの夜行性の節足動物です。刺激を受けるときれいな青色に発光します。（東京湾アクアラインのパーキングエリアの名前になっているアレです）

ペットボトルの中にエサとなるソーセージなどを入れてアジゴ釣りの間、海中に沈めておきました。暗くなった頃引き上げると、ペットボトルの中にきれいなブルーの光が集まっている・・・はずでしたが、残念ながらこの日、捕まえることはできませんでした。

海ホテルは観察できませんでしたが、参加者の皆さんは貴重な親子の時間と美味しいから揚げを楽しむことができました。

公民館の活動は昼間の活動が多いため、お母さんの参加が多いとのこと。お仕事の都合などがあるお父さんに参加していただくため、このように休日にアウトドアでできる活動を行うなど工夫されています。（この日もたくさんのお父さんが参加されていました。）

□ 9月18日（火）14：00～17：30 大田わんぱく遊び隊

毎月2回、大田小学校で放課後の児童を対象に、ドッチボールや手つなぎオニなど遊びの場を提供する「大田わんぱく遊び隊」を行っています。地域の方や、中学生・高校生がボランティアスタッフで協力しています。

この日は、大田小学校の児童クラブの子どもたちを中心に17名と6名の中学生が参加し、スナッグゴルフに挑戦しました。

スナッグゴルフとは、プラスチック製の2本のクラブとテニスボールに似た専用ボールを使った簡易型のゴルフです。大田市では大人の大会も開かれています。

子どもたちは地域のボランティアの方から指導を受けながら、ティーショット（ランチャー）やパッティング（ローラー）の練習をしました。

最近の子どもたちは、放課後でも外で遊ぶ機会が少ないそうです。テレビゲームの普及などもあります。交通安全や公園の減少など大人の事情も原因の一つです。

そのような中、集団で、異なる年齢の子どもたちが一緒に（大人も）、体を十分に使って遊べるこの活動は貴重だと思います。（子どもたちも生き生きと遊んでいました。）

○ 研修の感想

研修時期が

夏休みということもあり、子どもたちを対象としたイベントを中心に参加しました。

幼児から高校生の幅広い年代の子どもたちと触れ合うことができましたが、子どもならではの純粋な気持ちと、大人顔負けのしっかりした意思・物言いに、大変刺激を受けました。県職員としては、直接子どもたちと接する仕事は限られていますので、貴重な体験をすることができました。

活動には、地域の方が指導者やスタッフなどの立場で参加されていました。ボランティアで参加されている方も多かったです。こうした方の協力があってこそ充実した活動が行われると感じる一方で、参加する大人にとっても、地域の子どものたちと触れ合え、刺激を受ける良い機会だと思いました。

大田市立中央公民館は、市の嘱託職員2名（館長、主事）と社会教育指導員1名、3名のスタッフで活動の企画・運営を行われています。また、予算は少なく、自分たちで県などの補助金を活用しながら、数多くのバリエーション豊かな活動を行っていらっしゃいます。

少ないマンパワーと限られた予算という厳しい環境だと思いましたが、それでも充実した活動が行えるのは、スタッフの熱意と日々の工夫の賜物だと強く感じました。

また、活動の一つ一つを館長さんはじめスタッフの皆さん自身が楽しんで行っていたことがとても印象的でした。

研修を引き受けていただいた大田市中央公民館の岩根館長さん、伊藤主事さん、幸増社会教育指導員さん、本当にありがとうございました。